

山国川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

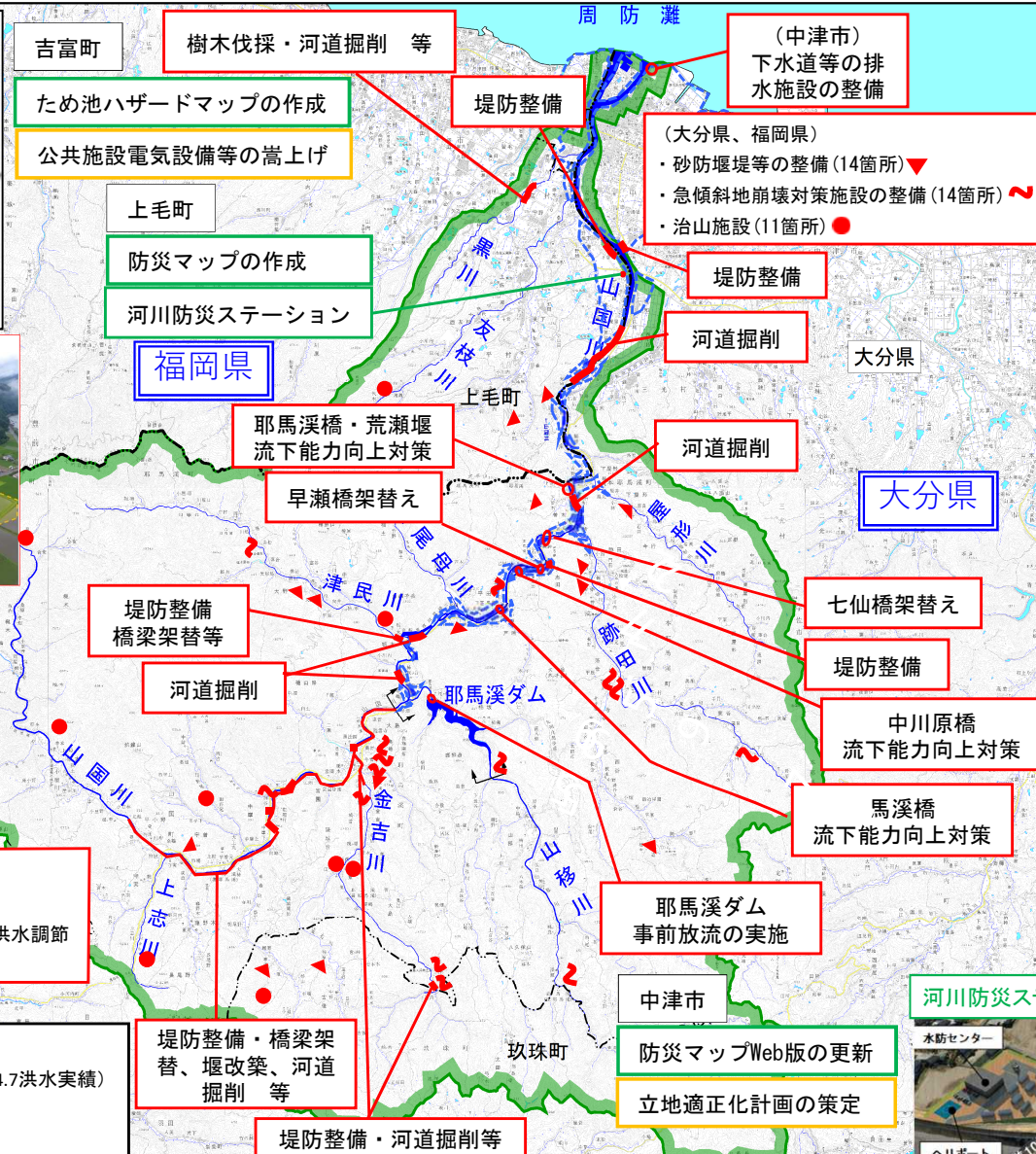
○令和元年東日本台風では、全国各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生した。山国川水系は、九州屈指の急流河川で洪水は短時間で流下し、下流部は広大な扇状地が広がるという流域の特性を踏まえ、下流部の堤防整備や河道掘削などの事前防災対策を進めることで、戦後最大の平成24年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させるなど、あらゆる関係者が協働して流域治水の取組を推進していき流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



砂防関係施設の整備

凡例
■ 浸水範囲(戦後最大のH24.7洪水実績)
■ 浸水想定区域
■ 大臣管理区間



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削・堤防整備、橋梁架替・堰改築 等
 - 耶馬溪ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国など)
 - 下水道等の排水施設の整備
 - 砂防関係施設の整備
 - 農業水利施設の整備・有効活用
 - ため池の補強・有効活用、水田の貯留機能向上
 - 雨水貯留浸透施設の整備
 - 森林整備・治山対策
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

堤防整備



排水施設の整備



■被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画の策定 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化
 - 危機管理型水位計の周知
 - ため池ハザードマップの作成
 - 防災教育や避難訓練等の実施
 - 防災マップの作成
 - 河川防災ステーションの整備 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



河川防災ステーションの整備



防災マップweb版



マイタイムライン



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

山国川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

● 山国川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 資産の大きい下流部の洪水被害軽減として、本川下流部の堤防整備、河道掘削等を主に実施する。県管理区間においても、河道掘削や橋梁架替を実施するとともに、河川防災ステーションの整備や砂防関係施設の整備等、流域内の被害軽減を図る。

【中期】 本川中流部の流下能力不足解消のため、河道掘削、橋梁架替え等を実施する。

県管理区間においても、引き続き河道掘削や堰改築等を実施するとともに、森林整備・治山対策、流出抑制対策等により被害の最小化を目指す。

【中長期】 本川中上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

■河川対策 (約178億円)
■砂防対策 (約75億円)
■下水道対策 (約40億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、樹木伐採、橋梁架替等	国土交通省 大分県、福岡県	山国川下流部、津民川	山国川中上流部、金吉川整備	
			橋梁架け替え、堰改築等		
	内水氾濫対策	中津市、吉富町	下水道等の排水施設の整備、排水機による強制排水		
	土砂災害対策	大分県、福岡県	砂防関係施設の整備		
		大分西部森林管理署 福岡森林管理署 福岡県、大分県 森林整備センター	森林整備、治山対策		
	流域の雨水貯留機能の向上	大分県、福岡県 中津市、吉富町、上毛町	水田の貯留機能向上、ため池や農業用排水路の治水活用等		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	中津市、(大分県)	立地適正化計画の策定		
		吉富町	公共施設電気等設備のかさ上げ		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	大分県、福岡県	危機管理水位計の設置等		
	避難体制等の強化	大分県、福岡県 中津市、吉富町、上毛町	防災マップ等の作成、避難訓練等		
	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	国土交通省 上毛町	河川防災ステーションの整備		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	国土交通省	歴史・文化・景観資源の保全、水際環境の創出、重要種等の移植・保全		
	魅力ある水辺空間・賑わい創出	国土交通省、 中津市、吉富町、上毛町	山国川下流地区かわまちづくり		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	国土交通省、大分県、 福岡県、中津市、 吉富町、上毛町	河川協力団体との連携による河川環境保全・啓発活動、民間協働による水源保全活動、小中学校などにおける河川環境学習		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

山国川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■グリーンインフラの取り組み 『サイクリングロードを活用した観光振興・地域活性化の推進』

○山国川流域は英彦山をはじめ犬ヶ岳、黒岳等の山地に囲まれ、耶馬日田英彦山国定公園及び名勝耶馬溪の指定や日本遺産の認定を受け、その景勝地等を生かした観光産業が重要な位置を占めている。また、兎跳び岩、蔽野の滝等の奇岩等が点在し、美しい河川景観を呈しており、河川周辺に、中津城、青の洞門、競秀峰等の風光明媚な景勝地や豊かな自然環境に恵まれている。

○九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョンでは圏域の入込客数を現状値(2018年)の1160万人から2024年までに1300万人に増加(112%)することを目標としており、その目標に寄与できるよう今後概ね10年間で、多くの観光客が集まる市街地と「水辺拠点」をサイクリングルートで結ぶ山国川下流地区のかわまちづくりを進めるなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



●治水対策における多自然川づくり

- ・歴史・文化・景観資源の保全
- ・水際環境の創出
- ・重要種等の移植・保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

- ・山国川下流地区かわまちづくり

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・河川協力団体との連携による河川環境保全・啓発活動
- ・民間協働による水源保全活動
- ・小中学校などにおける河川環境学習
- ・多自然川づくりについての課題等の情報共有
- ・産学官による水に関する取組みの情報共有
- ・河川協力団体への活動支援



小中学校などにおける河川環境学習 **民間協働による水源保全活動**
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

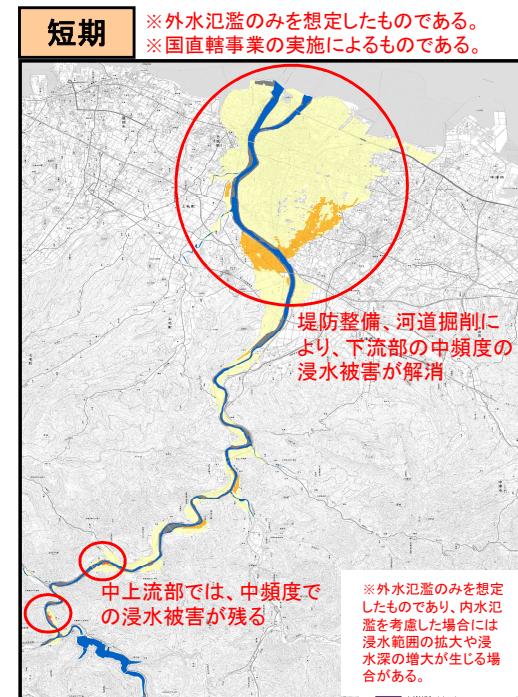
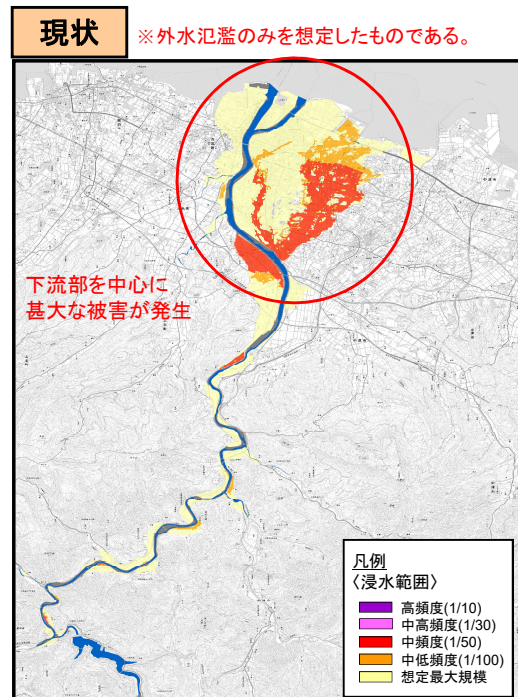
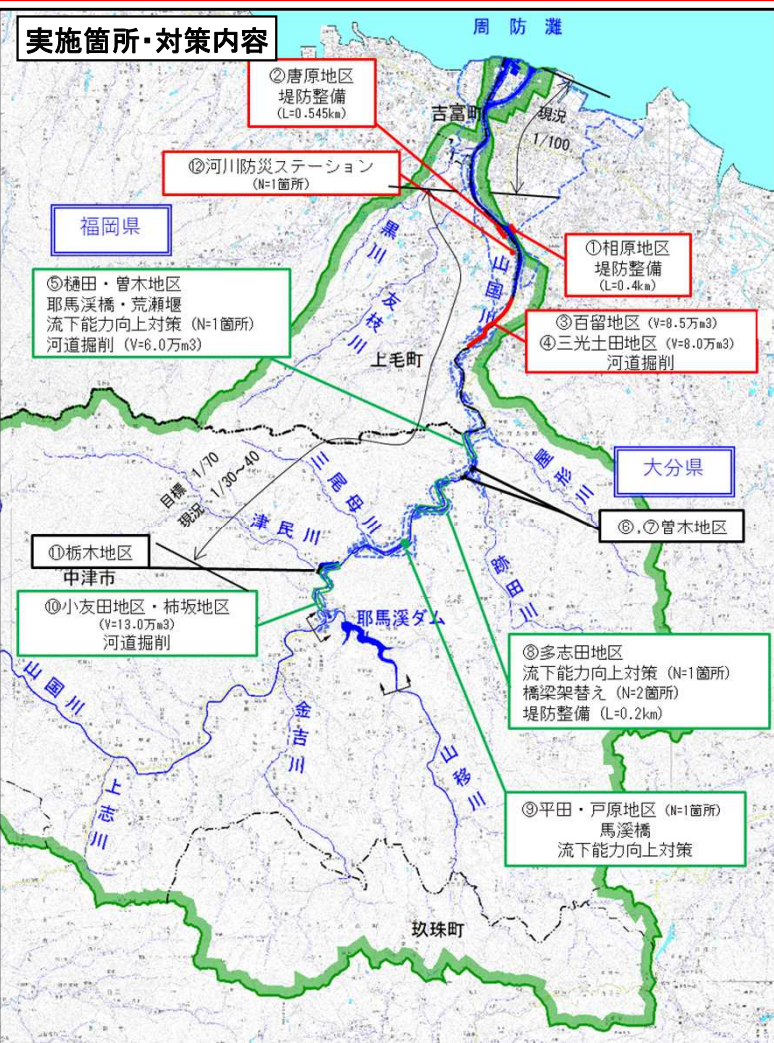
山国川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

○山国川下流部において、堤防整備や河道掘削などの事前防災対策をR7に完成することで、戦後最大の平成24年7月洪水と同規模の洪水をHWL以下で安全に流下させることが可能。

○河川防災ステーションの整備を完了し流域内の被害軽減を図るとともに、流域全体の治水安全度の向上を図るために山国川中上流部の河道掘削、橋梁架替え等に着手する。

短期整備(5ヵ年加速化対策)効果：河川整備率 約81% ➡ 約91%



区分	区間	対策内容	短期 (R3年度～R7年度) 下流：1/20～1/70 上流：1/20～1/20	中長期 (R8年度～R24年度) 下流：1/70～1/70 上流：1/20～1/70
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	関連事業		100%	
	②防災ステーション	河川防災ステーション	100%	
	下流	①相原 築堤	100%	
		②唐原 築堤、掘削	100%	
		③百留 河道掘削	100%	
		④三光土田 河道掘削	100%	
	上流	⑤榎田・曾木 流下能力向上対策、河道掘削		100%
		⑧多志田 流下能力向上対策、橋梁架替え、堤防整備		100%
		⑨平田・戸原 流下能力向上対策、河道掘削		100%
		⑩小友田・柿坂 河道掘削		100%

【短期整備完了時の進捗】

- ・流下能力向上対策
- ①相原 0% → 100%
- ・河道掘削
- ③百留 0% → 100%
- ④三光土田 0% → 100%
- ・②防災ステーション 0% → 100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

凡例

5ヵ年加速化メニュー：赤字

整備計画残メニュー：緑字

